

ハンガリー政府観光局 ニュース 2013年7月26日 No 245

- 音楽の殿堂リスト音楽院改修工事完了間近
- ブダペストカードのメリット
- 第8回ブダペスト冬の宿泊キャンペーン
- 新ハンガリー航空誕生？ Sólyom Hungarian Airways
- コラム:連載第5回「図書館」

●音楽の殿堂リスト音楽院改修工事完了間近

長らく改修工事が行われていた**リスト音楽院**は、10月22日のリストの誕生日に合わせ、工事完成のお披露目公演を開催することになりました。

当日は関係者向けのグランド・オープニング・ガラ。一般の初公開は25日で、音楽院の名誉教授 Jenet Zoltán に敬意を表し、「Jenet 70」と題した Kocsis Zoltán 指揮のハンガリーラジオ交響楽団のコンサートです。ちなみに当日は氏の70歳の誕生日。

以後、年末にかけてピアノリサイタル、室内楽、ジャズと民俗音楽、オペラ、コーラスなどなど60近くの公演が計画されています。

気になるチケット料金も公演内容により異なるものの、1,300HUF(約700円)から5,400HUF(約3,000円)程度とお手頃。購入は<http://lisztacademy.hu/>からオンライン(但しハンガリー語)で、あるいは Liszt Academy Concert Centre チケットオフィスで。

http://lisztacademy.hu/concert_centre/ticket_office



●ブダペストカードのメリット

この4月から大幅にパワーアップした**ブダペストカード**のメリットを「72時間」を例にとってご紹介しましょう。

このカードでは、ブダペスト交通局の市内全路線に72時間フリー乗車ができる他、主要な7美術館・博物館、ルカーチ温泉にフリー入場(美術館等の特別展は除く)等の多くの特典があります。次の表では、交通局の72時間トラベルカードを利用し、4つの美術館・博物館、ルカーチ温泉に個別購入して利用した場合の比較をしています。結果**5,350HUF**(約2,400円)の**お得**です。

その他の特典もたくさんあるので、使えば使うほどお得です。

利用項目	ブダペストカード(HUN)	個別購入(HUN)	お得
ブダペスト交通局 72 時間券	0	4,150	-
ブダペスト歴史博物館	0	1,800	-
国立西洋美術館	0	1,800	-
国立美術館	0	1,400	-
国立博物館	0	1,600	-
ルカーチ温泉	0	3,500	-
ブダペストカード 72 時間	8,900	0	-
合計	8,900	14,250	5,350

●第 8 回ブダペスト冬の宿泊キャンペーン

今年もブダペスト冬の宿泊キャンペーン「**Budapest Winter Invitation (BWI)**」が 11 月 1 日から来年 4 月 6 日まで開催されます。



この BWI キャンペーンでは、3 泊を 2 泊の料金で、4 泊を 3 泊の料金で提供するもので、今シーズンは、ゲッレールト温泉の他、新たに国立西洋美術館、ブダペスト・スプリング・フェスティバルも協賛し、冬のシティブレイクを盛り上げます。

www.budapestwinter.com (英語、ただし協賛ホテルの情報などは今後順次掲載されます。)

●新ハンガリー航空誕生？ Solyom Hungarian Airways

ショーヨム・ハンガリー航空(Solyom Hungarian Airways)は、マレーヴハンガリー航空の後継会社として名乗りを上げ、聖イシュトヴァーンの日の祝日である 8 月 20 日にブダペストのドナウ川上空でお披露目飛行を行う計画です。

ショーヨム航空は、いわゆる格安航空会社とは一線を画しフルサービスを提供する予定で、当初は 6 機体制でブダペスト・リストフェレンツ空港をベースにヨーロッパを中心に路線展開します。従業員も 700 人程度からスタートし 2017 年には 3 千人規模、機材も 50 機体制でニューヨークなどの長距離路線就航も視野に入れていきます。ちなみに Solyom とはハンガリー語でハヤブサのことです。

●コラム:連載第 5 回「図書館」

ハンガリーへの留学経験のあるペンネーム「カコ」さんによるブダペストでの生活体験をコラムにまとめいただき連載することにいたしました。

第 5 回「図書館」

観光旅行ではもちろん、いや現地に住んでいてもあまり行く機会がなく、しかしいざ入ってみると意外に面白いのが図書館である。建物自体が古めかしい歴史的建造物のこともあるし、時期によってはコンサートなどのイベントもやっていることが多いのでチェックしてみる価値はあるだろう。ブダペストの一般的な大きな図書館としては、ブダの王宮の丘にあるセーチェーニ図書館とペスト側のカルヴィン広場に面したサボー・エルヴィン中央図書館がある。もともとは両者ともお城の建物を利用して、前者はブダの王宮、後者はヴェックヘイム家の城だったものを図書館にしたとある。サボー・エルヴィン図書館のほう親子連れや学生でにぎわっていたので、そちらのほうを気軽に利用している人が多いようだった。

私は留学先で個人用の机がもらえなかったので、勉強をするには下宿か、さもなければ外でどこかお気に入りの場所を見つけなければならなかった。下宿で勉強するのが一番ラクだが少し寂しくなることも多いので、外で作業できる場所を探そうというわけだ。下宿から近くて、広い机がのびのびと使

え、資料がたくさんあり、できれば建物内か近郊にお昼を食べられるところがあって、インターネットが使えて、かつあまり混んでいないところが理想である。

中心部に住んでいたのに近さはそんなに問題ではなかったが、セーチャーニ図書館は閉架図書の出納手続きなどがやや煩雑で、サボー・エルヴィン中央図書館のほうは混んでいる(少し目を離れたすきにパソコンを盗まれてしまった友人もいた)。もちろん専門的な図書館や規模の小さい図書館は他にもたくさんあるのだが、文書館などは司書さんの目の前で作業しなくてはならず、自分の勉強がしづらいのも事実。理想的な場所を求めべく研究所図書館や大学図書館も含めいろいろ放浪したが、結論としては、短い滞在期間の中でぴったりのお気に入りの場所、というのは残念ながら見つからなかった。

とはいえいくつか気に入った場所もあった。そのひとつがサボー・エルヴィン図書館の音楽コレクション館。綺麗な上に、一人用の閲覧／視聴席が豪華だった。まず、ひとつの広い机に視聴設備が一通り揃っていてコレクション所蔵の視聴覚教材を利用することができる。さらに簡単なパソコンまでついている。しかも専門図書館ということだけあってそれなりに空いてたので、これは助かった。日本で音楽関係の調べ物をすることも多いのだが、一人用のスペースにこれだけ視聴覚設備が整っている贅沢な図書館はまず日本ではお目にかかれない。というわけで折に触れてはその視聴スペースに籠って、楽譜を片手にリゲティやクルターグやハンガリーのオペラを延々と視聴しつづけることができたのだった。



サボー・エルヴィン中央図書館

セーチャーニ図書館 http://regi.oszk.hu/index_en.htm

サボー・エルヴィン中央図書館 <http://www.fszek.hu/english>

ハンガリー政府観光局

facebook: <http://www.facebook.com/HungaryTravelClubJP>

Twitter: https://twitter.com/HNTO_JP